

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年2月25日

配布数 8

回収数 8

事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール札幌桑園

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	割合（％）				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
						はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	・利用人数が多い時に、活動を制限されてしまう ・大部屋を2人で使うと、吹く遊びなどで音が出た際、気をとられてしまうので、もう1部屋作れたらいい	施設は基準を満たしています。また他のスクール事業所と比べても、面積・部屋数は問題ないと思います。それでも少なからず制限はあると思いますので、現状の施設を工夫して使用することを検討します。
	2 職員の配置数は適切であるか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・正社員とパートで担当する人数に差が生じてしまう ・放デイが始まった際、職員が2～3人の時があるが、それでいいの か。午前は3人、午後は2人の日がある	お子様の状況で何回か続けて同じ職員が療育を担当することや体験対応は常勤中心に行っておりますので、常勤の方が担当人数が多いのは確かです。お子様への効果と業務分担とご理解いただきたいと思っています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	0	0	1	87.5%	0.0%	0.0%	12.5%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・キッズスペースが狭い ・個室が足りない	施設は限られたスペースの中で有効利用でき、また目指す療育が実施できるようになっておりますので、現在の施設の使用を工夫します。
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・ふり返り等でもお話を聞いている	アンケートを実施して3月に公表いたします。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・掲示して見てもらっている	アンケートを実施して3月に公表いたします。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	2	0	0	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	・各自研修会に参加している ・他スクールとの事例検討会には不足を感じる ・スクール内で事例検討委員会を行って、質の向上を計っている ・今年度初めての試みとして事業所内事例検討会を実施	外部研修に参加することやスクール内事例検討会の実施は継続します。他スクールとの事例検討会は、来年度は3～4スクールで実施を予定しています。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・小学生対象アセスメントツールがない ・6か月ごとに母（家族）の主訴や困り事を聞き、計画書を作っている。毎時、セッションでも困り事に対応できるよう聞き込み、プログラムに反映している	現在、K式発達検査やデンバー式発達スクリーニング検査、遠城寺式発達検査をスクールに導入しているおります。小学生対象のアセスメントツール（WISC等）については今後検討して行きます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4	0	0	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	・K式を利用している ・小学生対象のアセスメントツールがない	
	11 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%		
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・カンファレンス時、セッション前に集団での機会があれば設定している。考えている。	引き続きカンファレンスを丁寧に行い計画を作成して行きます。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・指導員が固定でないので、様々な視点から見る事が出来ている	SEDスクールの療育方針の大切なことですので、今後も様々な視点からプログラム作成して行きます。
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・集団活動をしたくてもできない場合がある ・グループが、子どもの主訴がかみ合わず取り組めないこともあるが、机上前の運動遊びで関わりの様子を見たり、幼保の様子を聞き、取り入れている。	お子様の特性や年齢だけでなくその時期の状況により集団活動が難しいこともあると考えます。集団活動が目的でなくお子様の成長が目的なので、一人ひとりの状況にあった支援計画やプログラムの作成・実施して行きます。
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	4	0	0	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	・当日中にふり返る時間がないことが多く、翌日以降に行っている	カンファレンスを13時頃から行うため、その日の午後のセッションの振り返りは次の日のカンファレンスで行っていますが、気付いた点等の共有は、しっかりできていると思います。
18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%			
関係 機関 や保 護	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0	1	75.0%	12.5%	0.0%	12.5%		
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	0	1	87.5%	0.0%	0.0%	12.5%	・まだ連携の体制は十分ではないが努力している ・母からの聞き取りや要望に応え、地域との情報共有、連携を行っている。	関係機関との連携については重要と考えおりますので、今後より一層協力関係を深めるため、引き続き努力をして行きます。
	22 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	0	1	87.5%	0.0%	0.0%	12.5%	・相談員の方とも連携をとりながら支援に臨んでいる。 ・現在は、移行支援としてではなく、園と連携をとれている	
	23 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	1	1	75.0%	0.0%	12.5%	12.5%	・現在は出来ていないがやりたい ・ほとんど年少～年中児なので小学校との連携は計れていない	年長のお子様が進学するときは、小学校や特別支援学校との連携を取れるように準備をして行きます。

者との連携	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1	0	0	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	・現在は出来ていないがやりたい	今後、連携を図っていきます。
	25	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	5	2	0	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%	・機会が無い ・機会があれば伺いたいと思っている ・年度当初は出来ていたが、来所児が増えてきているので参加できていない	
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・毎セッション終了時に行っている	これからも振り返り等を利用して丁寧に情報交換を行い、共通理解を持っていただけるように丁寧に対応していきます。
保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	1	0	87.5%	0.0%	12.5%	0.0%	・スクール長や事務の人に任せてしまっている	スクール長や事務員が中心にはなりますが、今後も丁寧に説明していきます。
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・カンファレンス時に職員間で話し合い助言と支援を行っている ・ふり返りの際の実施	振り返りの時間に保護者からの相談についてより良い助言ができるように、職員のスキル向上に努めます。
	30	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・おたよりは今年度廃止にしているが、掲示したり、コドモンで伝えたりしている	コドモンやブログを利用して情報発信を行っています。
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1	1	0	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%	・今の所、研修の予定がない	毎年虐待防止の研修を行っていますので、来年度の実施します。